

2019年4月 教会行事予定表		
曜	午 前	午 後
1月	こっこん倶楽部 10:00	
2火		
3水	OPC10:00	入門講座 18:00
4木		
5金	セシリアコーラス9:30	
6土	ミサ10:00 掃除(白鳥)	
7日	ミサ9:30 共同回心式 運営委員会	
8月		
9火	恵愛歌のボランティア10:00	
10水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
11木		入門講座 18:00
12金		
13土	ミサ10:00 掃除(白鳥)	
14日	集会祭儀9:30 枝の主日 壮年部女性部例会	
15月		
16火		
17水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
18木		聖木曜日(主の晩餐) 19:00
19金		聖金曜日(主の受難) 19:00
20土		聖土曜日(復活徹夜祭) 19:00 ミニパーティー
21日	復活の主日ミサ9:30 復活祭パーティー	
22月		
23火	恵愛歌のボランティア10:00	
24水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
25木		入門講座 18:00
26金		
27土	ミサ10:00	
28日	集会祭儀9:30 2019信徒総会	
29月	札幌教区大会 札幌教区カトリックセンター1階会議室	12:00受付 開会13:00
30火	札幌教区大会 札幌教区カトリックセンター2階会議室	開会9:00 閉会11:30



2019
3/10

ひとつになるう

2019年3月10日 カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行



〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-
☎0143-44-3851

ある、パンの物語

テレジア 田中 真樹子

私はパンが大好きです。パン屋さんのそばを通るだけで、よい香りに嬉しくなります。おいしいパン屋があるときけば、行ってみたいくなります。自分でも、時々ポリ袋のなかで材料を混ぜるだけの手抜きパンを作ってみることもあります。本物のパンにはとうてい敵いませんが。

聖書の中には「パン」が登場する印象的な物語がいくつもあります。そのパンは、誰がどんなふうにしたのだろう、どんな大きさ、形で、どんな香りだったのだろうと、ふと想像することがあります。そしてパンのもつ、生の重みを感じさせられます。先日、パンが登場する『ささやかだけれど、役に立つこと』(レイモンド・カーヴァー著、村上春樹訳)という短編小説を読みました。楽しい話ではありません。交通事故で息子を亡くした夫婦の物語です。

息子は誕生日の当日、交通事故にあいます。意識不明の重体です。母親はパン屋に予約したバースデーケーキのことももちろん忘れてしまいました。パン屋はケーキを受け取りに来ない客にいらだったあげく、ケーキを取に来るように電話をかけます。ところが、息子の事故に動転し、事情も知らない父親は、イタズラ電話だと思いこんでしまいました。腹を立てたパン屋は、次の日から、その家に本物のイタズラ電話をかけ続けます。夫婦は、薄気味悪いイタズラ電話と、いっこうによくならない息子の病状に悩まされます。そしてとうとう、息子は昏睡状態から突然目を覚ますのですが、そのまま静かに息を引きとります。数日後、夫婦はイタズラ電話の主にやっと気づいて真夜中に車でショッピングセンターに向います。二人はひとけのない真つ暗な建物に入っていきます。怒った二人の突然の訪問に気づいたパン屋は、腐りかけのケーキを指さして怒鳴りつけます。「ケーキが欲しいの？欲しくないの？わたしは仕事をしなきゃならないんだよ。パン屋は夜中に働くんだ」。けれ

ども、母親の口から、誕生日を迎えるはずだった息子が事故で亡くなったことを知らされると、パン屋は黙って椅子をすすめます。オーブンの火をとめ、コップにコーヒーを注ぎ、焼きたてのロールパンを差し出します。数日間ずっと病院につめていた夫婦は、そのとき、自分たちの空腹に気づきます。母親は、焼きたてのロールパンを立て続けに三個食べます。パン屋は喜び、「がっしりしてるが、リッチな」黒パンを二つに割って勧めます。二人はそれも平らげ、そしてパン屋の話に耳を傾けます。パン屋は「オーブンをいっぱいにしてオーブンを空っぽ」にする毎日くりかえしの日々の仕事について語り、やがてあたりは白っぽい光に包まれる、そういう物語です。

病院では何も口にすることができなかったこの夫婦が、食べて力を得ることができるようになったのは、パン屋とパンのおかげでした(パン屋自身も、幸せな人ではありませんでしたが)。安易な救いはありませんが、最後の場面に出てくるロールパンと黒パンは、夫婦にとっても、パン屋にとっても文字通り「生きる糧」となったのです。それは私たちが毎日食べるパンであると同時に、ミサでいただくパンでもあるのでしょうか。「私たちの日ごとの糧を今日もお与えください」



黙想会・聖週間・ご復活祭のご案内

信徒の皆様

カトリック東室蘭教会
主任司祭 ライヤ フランシス

†主の平安
信徒の皆様におかれましては、春の訪れとともに主のご復活を待ち望み、準備のうちに四旬節をふさわしくお過ごしのことと存じます。

さて、今年の聖週間及びご復活祭のミサ時間等が下記のように決まりましたので、ご案内申し上げます。

なお、ご復活祭に向けての共同回心式は4月7日のミサ中に行われますが、個別のゆるしの秘跡の時間については主任司祭にご相談ください

この四旬節が、信徒の皆様にとりまして、実りの時となりますことを祈りながら、ご案内と致します。

3月17日	日	四旬節の黙想会 ミサ後第1講話 昼食ご持参 食事後 第2講話	ミサ後
4月 7日	日	共同回心式	ミサ中
4月14日	日	受難の主日(枝の主日)	午前9時30分
4月18日	木	聖木曜日(主の晩餐)	午後7時
4月19日	金	聖金曜日(主の受難)	午後7時
4月20日	土	聖土曜日(復活徹夜祭) ミニパーティー	午後7時
4月21日	日	復活の主日ミサ 復活祭パーティー	午前9時30分

2018年度第11回運営委員会 議事録

2019年3月3日(日)10:50~12:30

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告

3.1 3・4月の予定

- 3月 3日(日) 運営委員会(ミサ後)
- 3月 6日(水) 灰の水曜日(ミサ 19:00)
- 3月10日(日) 壮年部、女性部例会
- 3月17日(日) 四旬節の黙想会
- 3月22日(金) 子供達のお泊り会(24日まで)
- 3月24日(日) 復活祭前の大掃除(集会祭儀の日)
- 3月31日(日) 合同ミサ 於:東室蘭教会 10:00 ミサ後夏期学校打合せ
- 4月 7日(日) 運営委員会(ミサ後)、共同回心式(ミサの中で)
- 4月14日(日) 受難の主日(枝の主日)、壮年部、女性部例会
- 4月18日(木) 聖木曜日(主の晩餐)ミサ 19:00
- 4月19日(金) 聖金曜日(主の受難)ミサ 19:00
- 4月20日(土) 聖土曜日(復活の聖なる徹夜)、ミサ 19:00
ミサ後 ミニパーティー(壮年部)
- 4月21日(日) ご復活の主日 ミサ 9:30 復活祭パーティー(女性部)
- 4月28日(日) 2019年度信徒総会(ミサ後)

3.2 その他

*2018年度臨時ブロック会議(2/24 東室蘭)が実施された。

次の事柄が議決された。

(1), 信徒大会について

- ・講師は、勝谷司教様、日時は10月の都合の良い日、会場は海星学院
- ・テーマは、司祭月例会後 小林神父様から司教様にこちらの意向も含めて決定して頂くこととした。

(2), 2019年度夏期学校について

- ・7/26(金)~7/28(日) 2泊3日に決定
- ・次回打合せは、3/31(日) 東室蘭教会合同ミサ後

(3), 「ファミリートーク」公開講演会について

- ・日時:3/9(土) 13:30~15:30
- ・会場:伊達末永集会場 0142-22-7713
- ・講師:金子 耕氏氏(HBCラジオ) 主催;伊達市キリスト教会連盟

(4), 外国籍の信徒の増加に伴う対策として、各教会が案内の葉を作成しホテル、病院、等に置いて頂く。ホームページの充実も図る。

3.3 財務報告 2019年2月迄の報告在り、特に問題ない

4. 議事

4.1 四旬節の黙想会、共同回心式について

3/17(日) 指導司祭ライヤ師、日程(ミサ後の第一講話、昼食各自持参、昼食後12:30 第二講話、共同回心式(4/7ミサの中で) テーマ:復活徹夜祭のことばの典礼朗読箇所について(第1~第7迄と使徒パウロのローマの教会の手紙及びブルカによる福音について)

4.2 復活祭前の大掃除について(ホール、台所等)

業者に依頼(見積書確認)

4.3 聖週間の典礼対応について

- ・ミサ(木~土)は、登別教会と合同で実施 19:00~(於:東室蘭教会)
- ・復活祭のミサは、9:30~(於:東室蘭教会)
- ・典礼委員会実施、日・時後日決定

4.4 子供達の春のお泊り会について

- ・日程は3/22(金)~3/24(日)、内容、案内等
- ・内容について、3/9(土)ライヤ師と関係者打合せ実施

4.5 その他

- ・ホールの天井灯をLEDに交換、(見積書の値引き交渉を実施して交換実施)
- ・分電盤アンペア数増量について(見積書を精査、実施検討)
- ・蓑島克哉司祭叙階のお祝いについて(3/21ライヤ師出席時に提出して頂く)
- ・ホールのブラインド故障により、新替える事とした
- ・札幌教区大会案内について
4/29, 30 札幌教区カトリックセンター1F会議室
各小教区から1・2名(参加対象者) その他詳細は案内参照
- ・司祭不在の時の主日の集会祭儀<試用版>発刊に伴う事
当教会で使用しているものと余り変わった所はないが、全国共通のものとして発刊されたもので、積極的に試用呼びかけられているに伴い、ライヤ師に後日ご指導して頂く事となった。

5. 司祭の予定

5.1 ライヤ神父様の予定

3/25(月)~3/27(水) 幼稚園の新任先生の研修会(札幌)

5.2 ミサ・集会祭儀の予定

3/3 ライヤ師 3/10 集会 3/17 ライヤ師 3/24 集会 3/31 合同ミサ(東室蘭教会)
4/7 ライヤ師 4/14 集会 4/21 ライヤ師 4/28 集会



太一くん また会う日まで

岩泉盛典

2月19日の朝早く、山口林蔵さんから電話がありました。「林蔵さん、どうした？」いつもの受け答えです。電話口から聞こえてきたのは信じられない言葉でした。とっさのことでなんと答えが覚えていません

何十年の間、ミサの侍者を務め以前は「がんちゃん」最近では「おじさん」と声をかけてくれ、宋神父さんからは「親子ですか?」と聞かれた太一くんでしたもう「お知らせ」の印刷のとき「おじさんおはようー」という元気な声を聞くことができません。

22日の通夜、23日の葬儀ミサと多くの方に見送られて天国へと旅立ちました。太一くん、また会おうね!

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

(平成30年度記載) 文化庁

本資産は、禁教時代の長崎と天草地方において、既存の社会・宗教とも共生しつつ信仰を密かに継続した「潜伏キリシタン」の伝統を物語る稀有な物証です。

潜伏キリシタンの文化的伝統が形成される契機となる出来事が考古学的に明らかにされている原城跡、潜伏キリシタンが密かに信仰を維持するために様々な形態で他の宗教と共生を行った集落(平戸の聖地と集落・天草の崎津(さきつ)集落・外海(そ

とめ)の出津(しつ)集落・外海(そとめ)の大野集落)、信仰組織を維持するために移住を行った離島部の集落(黒島の集落・野崎島(のざきじま)の集落跡・頭ヶ島(かしらがしま)の集落・久賀島(ひさかじま)の集落・奈留島(なるしま)の江上集落(江上天主堂とその周辺)、潜伏キリシタンの伝統が終焉を迎える契機となった出来事が起こり、各地の潜伏キリシタン集落と関わった大浦天主堂から構成されています。

